

第2回評議員会議事録

平成24年運動方針・予算を承認！

日時：平成24年2月23日（木）午後2時～午後2時40分

会場：ビルメンテナンス会館2階会議室

評議員数 27名

出席者 25名（当日出席18名、議決権行使書4名、委任状3名）

議長 島岡秀文（中央ビルサービス株式会社代表取締役社長）

議事録署名人 議長、吉田寛治（株式会社オール商会取締役）

審議事項

第1号議案 平成23年事業報告承認の件

第2号議案 平成23年収支決算報告承認の件

第3号議案 平成24年運動方針案・事業計画案承認の件

第4号議案 平成24年収支予算案承認の件

1 理事長挨拶

佐々木理事長より、次のような挨拶があった。

大変忙しい時期に多数の評議員の出席に感謝します。

昨年2月の東京協会の公益社団法人への移行を受け、協会と政連の組織・役割を明確にするため、政連の組織改革を進めてきた結果、総会に代わる政連の最高意思決定機関として評議員会が設置されました。協会では取り組みにくい「業界利益」を守る活動を積極的に推進し、会員から信頼される政連にしていきたいと思う。

2 審議事項

第1号議案 平成23年事業報告承認の件

鈴木幹事長より、次のとおり提案説明が行われた。

東京都の平成24年度予算等に関する要望事項については、総合評価制度や複数年契約制度の拡充、不適格業者の排除などを中心に、都議会自民党、民主党、公明党に対し要望活動を行った結果、総合評価4件、複数年契約2件と増加してきており、知事登録業者の優先指名についても都で検討が進められている。

国家予算、官庁入札、税制、制度改革などについては、民主党都連、自民党都連への要望活動を行い、要望書は民主党本部を通じて厚生労働省に提出されている。

自民党都連との意見交換会では、競り下げ入札の拡大反対や最低賃金の実施時期の見直

しなどについて、忌憚のない意見交換ができた。全国ビル政連の運動もあり、労災保険率が4月から千分の6から千分の5.5に引き下げられるなどの成果も上がっている。

ビルメンテナンス業界の理解者である議員・候補者の応援では、東京都知事選挙において、石原都知事を応援した。

以上の提案を受け、事業報告は全会一致で承認された。

第2号議案 平成23年収支決算報告承認の件

星川会計責任者より、次の通り提案説明が行われた。

23年の機関誌購読料収入(1,592万円)などで1,605万円、前期繰越金を含めて2,186万円の収入があった。

支出としては、東京協会との事務委託契約に基づく委託経費315万円、全政連の機関誌購入費用514万円、総会、理事会、新年賀詞交歓会開催費用が317万円、機関誌発行経費が359万円、支出合計は1,777万円で、単年度収支は171万円の赤字となった。政連の財政状況は状況にあるので、引き続き、無駄を省き効率的な執行に心掛けたい。

以上の提案を受け、収支決算報告は全会一致で承認された。

第3号議案 平成24年運動方針案・事業計画案承認の件

鈴木幹事長より、次のとおり提案説明が行われた。

運動方針案・事業計画案は、ほぼ例年どおりであり、国の法令・税制など全国的なレベルの問題に関しては、全政連と協力して対処する、また、東京都関連の要望活動は、都議会ビルメンテナンス議員連盟や東京都選出の国会議員と連携して粘り強く運動を進める。

国政選挙については、政局を見極めながら、ビルメンテナンス業界の理解者を応援していきたい。

機関誌発行は年6回から4回とし、新たに開設した政連のホームページを活用し、政連の活動状況や雇用問題、助成金など会員の利益に資する情報をタイムリーに掲載していきたい。

以上の提案を受け、運動方針案・事業計画案は全会一致で承認された。

第4号議案 平成24年収支予算案承認の件

星川会計責任者より、次の通り提案説明が行われた。

収入としては、機関誌購読料収入(1,594万円)前期繰越金408万円などで、合計2,005万円を見込んでいる。

支出は、東京協会への委託経費を実態に即して見直した結果247万円とし、組織活動費(全政連機関誌購入費、総会、新年賀詞交換会開催費等)931万円、選挙関係費

150万円、機関誌発行費用等307万円など1,652万円となっており、平成25年には353万円繰り越す予算となっている。

以上の提案を受け、収支予算案は全会一致で承認された。

3 決議採択

鷲見事務局長より、「短時間労働者への社会保険適用拡大に反対する決議案」(別紙参照)が提案され、満場一致で採択された。

以上により、島岡議長は、第2回評議員会の閉会を宣言した。

(了)